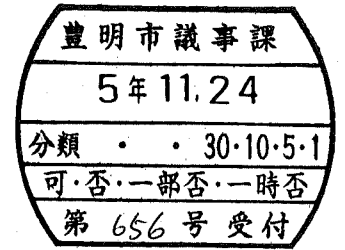


豊明市議会議員 殿



行政等視察報告書

議員名 浅井 たかお

令和5年度豊明市議会政務活動費にて下記のとおり行政等を視察しましたので報告します。

年月日	視察先	視察項目及び成果等
令和5年10月24日	栃木県栃木市 栃木市役所 (14時～16時)	1日目 空き家対策への取り組み 「空き家バンク」について 栃木市行政は、地域住民、各自治会との強い連携によって、いち早く空き家を情報収集している。さらに事務手数料程度の少額な協力手当金も支給している。不動産業者にも協力してもらって成果を上げている。 地域的な違いがあるので、丸きりの真似はできないが、エキスのなところを取り入れれば、豊明市でも成果が上げられると思う。
令和5年10月25日	群馬県桐生市 市立黒保根学園	2日目 黒保根学園の小中一貫校教育について 風光明媚で、街中でもとても静かで穏やかな土地柄。既存の校舎をそのまま利用。改修は、室内のみを修繕、図書室拡大の為に、廊下部分の壁を取り、対応。地域の人たちとの合同運動会も行うなど、地域全体で見守っている。世界に通用する英語力をつけられる教育方針。見習うべき点は満載だと思った。

(注) 別紙添付も可能とします。

(注) 本報告書は5年間公開します。

群馬県桐生市 桐生市立黒保根学園 (10時～12時00分)

報告者 浅井 たかお

市の概要 市制施行 大正10年3月1日

人口・世帯 103,976人、49,320世帯(令和4年)、面積 274.45キロ平方メートル、林野率 73%

視察テーマ 「黒保根学園」小中一貫校」について

少人数を生かした指導や発達段階に合わせた3ブロック制など、小中一貫校の特色ある教育について、先進的な事例を学ぶ。

桐生市立黒保根学園

設置者 桐生市

併合学校 桐生市立黒保根小学校、桐生市立黒保根中学校

設立 2022年4月1日、男女共学、3学期生

学年割 6学年・8学年(中学2年生相当)・9学年(中学3年生相当)

特色 「黒保根から世界を見つめ、世界へ羽ばたく人材を」を目指し、①少人数を生かした個に応じた指導(確かな学力の向上)、②英語教育国際理解教育の推進、③地域に根ざし地域と連携・協働、の3つの柱を掲げ教育活動を行っていく。{英語教育に力を入れていて、外国人教師による英会話授業を取り入れている}

視察の所感 黒保根学園の魅力を知り、環境に恵まれていること
もあって、長野県からの移住者もいるとのことでした。

とても景色がよく、赤城山や岩木山も素晴らしかったので、親なら、これほどの風光明媚な場所でのびのびと子育てできること、一緒に生活できることは幸せだし、子どもも落ち着きのある人物になるだろう。世界を股にかけるほどの社会人にもなれると思う。

どんどん児童生徒が増えた場合の人数制限は1クラス30人が限度だそうです。こちらも地域性の違いから豊明市にそのまま取り入れることはできない。しかし、エキス部分を取り入れて豊明市独自の中間一貫校は可能だと思った。

豊明市は、これ以上、計画性のない、街作りという名の自然破壊をしてほしくないと強く感じている。

令和5年度 市民派の会 行政視察報告書

報告者 浅井 たかお

視察先 栃木県栃木市役所(令和5年10月24日(火)視察)午後14時～16時

目的 空き家対策への取り組み「空き家バンク」について

参加者 浅井たかお 林ゆきひろ こんどうのぶお

1. 栃木市の概要 栃木県の最南端に位置し、静かなたたずまいの街です。
東武鉄道とJRが乗り入れる栃木駅を含む12の駅に加え、東北自動車道と北関東自動車道の結節点として東西南北に交通網がひろがることから、首都圏を含む多方面へのアクセスに優れています。東京駅へは最短55分、高速道路でも約1時間の距離にあります。

面積331.50キロ平方メートル、人口155,281人、総世帯数66,879世帯、高齢化率32.3%（令和5年3月31日現在）

2. 会派から事前に提出した質問事項

Q 空き家バンク発足の経緯、運営について

A 平成25年度から不動産団体と協力し「空き家バンク」制度の運用が始まり、空き家・空き地に関する情報を市のホームページで提供し、売りたい・貸したいという方と買いたい・借りたいという方をつなぐ制度です。

1. 趣旨 高齢者が高齢者施設入居等により、すでに空き地となった家屋やこれから空き地となる予定の家屋を、子育て世代や定住希望者、二地域居住希望者等に対し情報提供を行うことにより、住み替えに対する支援や定住の促進を図ると共に、空き家が廃屋となる前に有効活用を図ることにより、空き家をつくりにくくする施策とする。
2. 背景 栃木市の人口は、合併により県内で上位の規模となったが、人口増減率では県平均より減少し、高齢者世帯率では県平均を上回っている状況である。高齢者世帯が今後も増加していく中で、高齢者が安心して高齢者施設等に入居できるようにするための住み替え支援が必要となっている。また、全国的に空き家の増加が社会問題化しており、空き家の有効活用を通し定住の促進や地域の活性化を図る必要がある。
3. 実施方針 空き家バンクを創設し、空き家の情報提供等を行うとともに、空き家バンクに登録された空き家のリフォーム補助制度を創設し、空き家バンクの利用促進を図る。平成26年1月運用開始。同年4月リフォーム補助金開始。令和3年4月農地付き空き家取り扱い開始。

視察の所管 栃木市の「空き家バンク」の取り組みについて、行政の熱意と地域住民、多数自治会との信頼関係が本物だと感じた。豊明市では、到底真似できない。また、街自体がとても静か、穏やかで、地域性がことなるため、一

概に比較はできないため、視察内容をそのまま豊明市に取り入れることはできないが、住民や自治会から空き家等の情報提供、情報収集の取り組みについては取り入れることができると思う。